

平成2年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿
(五十音順)

[個人]

あかい くにまさ
赤井 邦正 (奈良県吉野郡天川村)
いわはら のぼる
岩原 昇 (福井県丹生郡宮崎村)
かがや りきじ
加賀谷 力司 (秋田県南秋田郡五城目町)
きたざと たつのすけ
北里 達之助 (熊本県阿蘇郡小国町)
やすの き ただし
安野木 正 (岩手県岩手郡松尾村)

[団体]

かつたししみんけんしょうすいしんきょうぎかい
勝田市市民憲章推進協議会 (茨城県勝田市)
かみなかざとだん ちりよっかいいんかい
上中里団地緑化委員会 (神奈川県横浜市)
ごせんしみどり そだ かい
五泉市 緑を育てる会 (新潟県五泉市)
さんのうかい と ち かいりょうく
山王海土地改良区 (岩手県紫波郡紫波町)
かぶしきがいしゃ そうごうかいほつ じぎょうほんぶ
シャープ株式会社 総合開発センター I C 事業本部 (奈良県天理市)
せきろうじん
関老人クラブ (山形県西田川郡温海町)
はままつおろししょうじゅうたくだんちりよっかきょうていうんえいいんかい
浜松卸商住宅団地緑化協定運営委員会 (静岡県浜松市)
ふかがわみどりしょうねんだん
深川 緑少年団 (北海道深川市)
ふくおかまちやまぎしせいさんくみあい
福岡町山岸生産組合 (富山県西礪波郡福岡町)
ようめいしゅせいぞうかぶしきがいしゃ こまがねこうじょう
養命酒製造株式会社 駒ヶ根工場 (長野県駒ヶ根市)

[学校]

いずみしりつ にしいずみしょうがっこう
出水市立西出水小学校 (鹿児島県出水市)
いまいちしりつ おおむろしょうがっこう
今市市立大室小学校 (栃木県今市市)
こかわちょうりつ ともぶちちゅうがっこう
粉河町立鞆渕中学校 (和歌山県那賀郡粉河町)
なかだちょうりつ なかだちゅうがっこう
中田町立中田中学校 (宮城県登米郡中田町)

[地方公共団体]

かくのだてまち
角館町 (秋田県仙北郡角館町)
たいしょうちょう
大正町 (高知県幡多郡大正町)
つつがそん
筒賀村 (広島県山県郡筒賀村)
にゅうぜんまち
入善町 (富山県下新川郡入善町)
はぎし
萩市 (山口県萩市)

[個人]

| | |
|-------|---|
| 氏名 | あかい くにまさ 赤井 邦正 |
| 住所 | 奈良県吉野郡天川村 |
| 功績の概要 | <p>氏は、永年にわたり吉野熊野国立公園稲村ヶ岳の山小屋管理人として、また、自然公園指導員として、公園を訪れる利用者に折りにふれ、ツクシシクナゲなどの高山植物群落の保護、盗採防止などを訴え、指導してきた。氏は、また貴重な植物を盗掘から守り、より実効のある保護体制を確立するためには、国立公園特別地域の拡張が不可欠であると考え、関係機関に働きかけるなど、その実現に貢献した。</p> <p>また、山道の破損箇所の修理、転石の取り除き、清掃活動などを積極的に行い、公園の維持管理に努めるとともに、ゴミの持帰り運動の指導等を通じて、緑化推進、自然保護思想の普及に尽力した。</p> |

[個人]

| | |
|-------|--|
| 氏名 | <p>いわはら のぼる 岩原 昇</p> |
| 住所 | <p>福井県丹生郡宮崎村</p> |
| 功績の概要 | <p>氏は、昭和30年地元宮崎村長に就任するや「土と炎と緑のふるさと、宮崎村」をスローガンに、自然環境の整備、地域緑化の推進に取り組み今日に至っている。特に、児童の体力づくりと自然への調和を目指した学校森林公園の造成に尽力するとともに地域住民の憩いの場として自然あふれる「越前陶芸村」の建設にも尽力するなど、児童・生徒の緑を通じた情操教育、地域住民の緑化意識の高揚に心血を注いでいる。また、森林づくり担い手の技術の向上等に努めるとともに、今日では「手入れの行き届いた山づくり」をスローガンに間伐の促進等に取り組むなど、旺盛な指導力発揮のもとに地域緑化の推進に多大の貢献をしている。</p> |

[個人]

| | |
|-------|---|
| 氏名 | <p>かがや りきじ 加賀谷 力司</p> |
| 住所 | <p>秋田県南秋田郡五城目町</p> |
| 功績の概要 | <p>氏は、地域の活性化は健全な森林づくりからとの信念のもとに30有余年の長きにわたり森林づくりに取り組むとともに、その卓越した指導力と旺盛な実践力の下に地域住民の緑化意識の高揚、森林づくりの推進に多大の貢献をしている。特に、長年にわたる森林づくりで培われた豊富な経験と知識を活かし、地域における森林づくり後継者の育成確保に努め、林業研究グループ等12団322名の後継者グループを育成するとともに青少年の緑化活動の促進にも力を注ぎ、町内において8団、1,145人の緑の少年団が結成されるなど、その幅広い活動を通じて地域緑化推進の牽引車的役割を果たしており、その功績は高く評価される。</p> |

[個人]

| | |
|-------|--|
| 氏名 | <p>きたざと たつのすけ 北里 達之助</p> |
| 住所 | <p>熊本県阿蘇郡小国町</p> |
| 功績の概要 | <p>氏は、昭和39年から今日まで20有余年にわたり森林づくりの実践活動、後継者の育成確保等積極的かつ幅広い活動を通じて地域はもとより県下全域にわたる森林づくりの推進に尽力している。特に、過疎化の進行著しい山村地域にあつて、森林を守り育て緑豊かな郷土づくりを推進するためには、森林づくり後継者の安定確保を図ることが極めて重要であるとの固い信念に基づき、林業研究グループの育成指導や地域住民による森林づくりの推進等に心血を注ぎ、今日、県内各地に71グループ、会員1,000名余の後継者グループが結成されるなど、地域緑化の推進に果たした功績は極めて大きい。</p> |

[個人]

| | |
|-------|--|
| 氏名 | <p>やすのき ただし 安野木 正</p> |
| 住所 | <p>岩手県岩手郡松尾村</p> |
| 功績の概要 | <p>氏は、昭和36年八幡平ユースホステルペアレントとして勤務して以来、岩手県自然保護管理員及び環境庁自然公園指導員として十和田八幡平国立公園内の巡回を続け、高山植物の盗採掘防止活動等に努めたほか、過剰利用により荒廃した湿原植生の再生を図るため独自に調査研究を行い、植生保護施設の整備を行うなど、貴重な高山植物群落の保護に尽力した。</p> <p>また、公園利用者に対し、野生動植物の保護、ゴミの散乱防止等を説き続ける一方、自然愛護少年団の結成、岩手県自然保護指導員等連絡協議会の結成等に尽力し、県内の自然保護普及啓発運動のリーダーとして活躍している。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>かつたししみんけんしょうすいしんきょうぎかい 勝田市市民憲章推進協議会</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>茨城県勝田市</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>会 長 小林 敬</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同協議会は、発足当時から、市の木、市の花を市に対し建議するなど都市緑化運動を中心に活動してきた。</p> <p>勝田駅前から市役所前を通る昭和道路線に植栽したツツジの維持管理は、本協議会が中心になり市民参加を呼びかけてきた。当初は各婦人会、青年団協議会、子供会等の奉仕活動であったが、現在は自分たちの環境は自分たちの手でつくるという、自主的な奉仕活動へその輪が大きく広がっている。このように、本協議会の活動は住民の都市緑化意識高揚をもたらしている。</p> <p>また、市民さつき展の開催等の普及啓発活動、学校等への苗木の配布等、勝田市の緑化推進への貢献は顕著である。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|--|
| <p>名 称</p> | <p>かみなかざとだんちりよっかいんかい 上中里団地緑化委員会</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>神奈川県横浜市</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>委員長 田辺 満喜男</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同委員会は、建設当初の開発の傷跡の残る団地周辺に「もっと緑を」を合い言葉に昭和52年に発足。43棟860戸の住民の中から選ばれた常任委員・棟委員により組織的に運営されており、委員会で作成した植栽計画に基づいて全住民が一体となって植樹・施肥・せん定等の緑化活動を行っている。</p> <p>また、「緑化ニュース」等の機関紙を発行し、緑化活動の紹介や月々の作業指針等を知らせるとともに、園芸相談、棟ごとの芝生コンクール等の行事を通じて緑化意識の高揚に努めており、緑豊かなふるさとづくりを目指したその活動は、他の模範として多くの緑化団体が視察に訪れている。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>こせんしみどり そだ かい 五泉市緑を育てる会</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>新潟県五泉市</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>会 長 木村 喜一</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同会は、昭和46年7月に「街に、人の心に緑を」という願いをこめて設立され、以来五泉市の緑化運動を推進している。</p> <p>本会の目的である緑化推進のために、講演会や実技指導教室を行ない、市民の緑化意識の高揚と愛護精神の普及啓発を図っている。</p> <p>また、市民の健康増進と心の安らぎの場の創出として公共施設の植樹を実施している。この活動により、昭和52年から現在までに公園、街路、小中学校、保育園等の公共施設に植樹を実施した施設数は13か所、樹木数は2,000本に及んでいる。このような、地域への緑化を通じての功績は高く評価されるものである。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|--|
| <p>名 称</p> | <p>さんのうかいとちかいりょうく 山王海土地改良区</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>岩手県紫波郡紫波町</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>理事長 浦田 文好</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同土地改良区は、昭和29年の山王海ダム完成以来、農業用水の安定的な確保を図るため、長年にわたり、水源地域の森林整備を積極的に実施してきた。</p> <p>具体的には、ダム湖周辺に改良区所有林を設定するとともに国有林に部分林を設定し、森林を積極的に造成するほか、水源かん養保安林の指定を受け、長年にわたり、下刈、除伐、間伐等による保育管理に努めている。</p> <p>さらに、山王海ダムの建設により移転した農家の農地等に積極的に造林を行うことを呼びかけるなど、水源地域の緑化の推進に尽力してきている。</p> <p>このように、同土地改良区が緑化の推進に果たしてきた功績は大変大きい。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p style="text-align: center;">かぶしきがいしゃ そうごうかいはつ じぎょうほんぶ シャープ株式会社 総合開発センター I C 事業本部</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>奈良県天理市</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>本部長 井上 弘</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同工場は、奈良盆地の恵まれた自然環境と調和し、緑豊かな「公園工場」づくりを推進している。超 L S I 等を主要製品とする最先端技術の工場にあって、構内には古墳をそのまま保存し、奈良の歴史的風土との調和も図っている。</p> <p>周囲の自然樹林を保全して優れた景観を保ち、また構内には庭園型緑地、桜並木の遊歩道を整備し、市民に憩いの場を提供している。古墳、遊歩道のほかグラウンド、歴史館なども広く一般に開放し、また、子供会を工場に招待するなど地域社会との融和にも努めている。自然・歴史的風土との調和を図りつつ、緑を通じて地域社会に貢献しており、その功績は高く評価される。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>せきろうじん 関老人クラブ</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>山形県西田川郡温海町</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>会 長 成田 辰三郎</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同老人クラブは、昭和42年からクラブの事業の一環として、山形県西田川郡温海町鼠ヶ関地区において花壇の整備及び街路樹の手入れを開始し、現在まで活発な活動が続いている。</p> <p>特に、一般国道7号線沿道の植樹帯には、カイヅカイブキ、マリーゴールド等を植栽し、定期的又は必要に応じ随時、清掃、除草及び消毒、追肥、補植等を実施し、長年にわたり四季折々に草花が咲き乱れるようになった。これらは、会員が力を合わせて地域環境の美化、緑化活動を続けた結果で、地域住民はもとより国道を行き交うドライバー等の心を和ませ、環境緑化、美化意識の高揚に大きく貢献している。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>はままつおろししょうじゅうたくだんちりよっかきょうていうんえいいんかい 浜松卸商住宅団地緑化協定運営委員会</p> |
| <p>所在地</p> | <p>静岡県浜松市</p> |
| <p>代表者</p> | <p>運営委員長 花島 貞二</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同住宅団地は、快適な住宅環境を整備するため、住宅地造成事業の計画段階において、県内第1号の緑化協定を締結した。本会は地域ぐるみで緑あふれる街づくりを図るため、住宅地等の生垣の統一協定の促進を始め、周辺道路、近隣の公園、河川沿い等の公共用地に住民と一体となって、ヤマモモ、サザンカ等を植栽しその育成管理を行なっている。また、緑の環境美化保全のため毎年3回生垣、庭木の害虫防除や毎年1回の公園内の清掃、除草及び年2回の生垣下の清掃、除草等を一斉に行なっている。</p> <p>同団地は、緑化協定の模範実践地区として高く評価され、他の都市からも多くの視察者が訪れている。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|--|
| <p>名 称</p> | <p>ふかがわみどりしょうねんだん 深川緑少年団</p> |
| <p>所在地</p> | <p>北海道深川市</p> |
| <p>代表者</p> | <p>代 表 木村 芳美</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同少年団は、昭和48年団結成以来、「緑は私達の手で」を合言葉に緑の体験学習を通じて知識と技術の修得に努めつつ森林づくりから環境美化、野鳥の保護等幅広い活動を展開し、地域の緑化活動に大きな役割を果たしている。特に、地域住民の緑とのふれあいの場である丸山自然公園の緑を守るため、団結成以来、植樹活動や清掃等の美化活動に取り組むとともに、市有林の下草刈り等の保育活動や森林パトロール、公共施設のミニ植樹、手づくり緑化標識板による緑化思想の普及啓発等多彩な活動を通じて緑豊かな美しい環境づくりに多大の貢献をしており、地域住民から高い評価を受けるなど、その功績は極めて大きい。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>ふくおかまちやまぎしせいさんくみあい 福岡町山岸生産組合</p> |
| <p>所在地</p> | <p>富山県西礪波郡福岡町</p> |
| <p>代表者</p> | <p>窪谷 国雄</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同生産組合は、昭和58年から「明るく、豊かな住みよい村づくり」を推進するため、町内基幹道路の両側に「カンナ」を植え込む農村環境美化活動に取り組んでおり、その運動は、地域の先導的役割を果たしている。</p> <p>また、カンナ街道の運営に当たっては、多忙な農作業の合間を割いて集落全戸から家族全員が参加し、緑化意識と地域住民の連帯意識の醸成に大きく寄与してきた。</p> <p>さらに同組合では、球根を希望するグループへ無償で配布し、運動の広がりに努力した結果、学校等の公共施設から工場、商店会等へと運動の輪が広がっており、その功績は高く評価される。</p> |

[団 体]

| | |
|--------------|--|
| <p>名 称</p> | <p>ようめいしゅせいぞうかぶしがいしゃ こまがねこうじょう 養命酒製造株式会社 駒ヶ根工場</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>長野県駒ヶ根市</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>工場長 三井 貞明</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同工場は、中央アルプスの麓に広がる優れた自然環境をそのまま生かし、薬用酒製造にふさわしい「森の中の工場」となっている。</p> <p>広大な自然樹林や清流の保全に努めるほか、構内には芝生や庭園型緑地も整備して周辺環境との調和を図り、極めて高い緑化率を達成している。敷地内から発掘された古代住居跡を復元し、歩道やグラウンドとともに一般に開放しており、小中学生の学習の場、地域住民の憩いの場ともなっている。さらに、林道の新設、改修事業への援助、従業員による道路清掃などを通じて、地域の森林保全や環境保持にも貢献しており、その功績は高く評価される。</p> |

[学 校]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>いずみしりつにしいずみしょうがっこう 出水市立西出水小学校</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>鹿児島県出水市</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>校 長 所崎 義治</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同校は教科・科目の指導において花を積極的に活用しているのを始めとして、児童活動や学級活動で生徒自らが学校緑化を進める方法、計画を話し合い、緑化の意義を理解し意識を高めている。一方、校内に花いっぱい緑化推進委員会を設け職員児童一体となって学校教育と緑化を結びつけた花づくり等の緑化推進の実践を図っている。</p> <p>造園業が盛んな緑の環境に恵まれた本校区で、郷土の木を種子から育成栽培することは、郷土産業への理解を深め、郷土愛と郷土の発展に尽くす豊かな心を育み、地域の幅広い緑化推進へ多大の貢献をしている。</p> |

[学 校]

| | |
|--------------|--|
| <p>名 称</p> | <p>いまいちしりつおおむろしょうがっこう 今市市立大室小学校</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>栃木県今市市</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>校 長 中嶋 幹男</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同校は、昭和55・56年の校舎の全面改築に伴い、新たに環境緑化計画を策定し、古い伝統を生かしながら、新しい校舎にマッチした環境づくりを推進するとともに、児童、教職員、PTAが一体となり、「美しい心を育てる環境緑化」を目指した手づくりの緑化活動を行っている。</p> <p>また、緑化を学校教育活動の全分野に位置付けて活用し、各教科、道徳、特別活動の学習等に大きな成果をあげている。</p> <p>さらに、緑の少年団の結成、「小さな親切運動」の推進、学校周辺の道路の花壇整備などの活動を進めており、同校の緑化活動は、地域の環境緑化の推進にも大きく貢献している。</p> |

[学 校]

| | |
|--------------|--|
| <p>名 称</p> | <p>こかわちょうりつともぶちちゅうがっこう 粉河町立鞆渕中学校</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>和歌山県那賀郡粉河町</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>校 長 津田 享</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同校は、生徒数38名の過疎山村の小規模校であるが、緑豊かな明るい郷土づくりを目指して昭和26年以来約40年の長きにわたり、植林、下草刈等学校林活動を通じて地域の森林づくりに住民と一体となって取り組み、現在までに約10haの森林を造成し、今日、健全な森林づくりに向けてその保護育成に努めるとともに、地区内の清掃等環境美化活動にも積極的に取り組んでいる。特に、長年にわたり先輩から後輩へ連綿と受け継がれてきた森林づくり活動は、今日、地域ぐるみの緑化活動として住民の間に深く浸透・定着し、森林づくりへの参加気運を醸成するなど、地域の活性化と緑化推進に果たした功績は極めて大きいものがある。</p> |

[学 校]

| | |
|--------------|--|
| <p>名 称</p> | <p>なかだちょうりつなかだちゅうがっこう 中田町立中田中学校</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>宮城県登米郡中田町</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>校 長 高橋 多吉</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同校は、昭和47年の学校創設以来、「田園の中の緑と花につつまれた学園構想」に基づいた環境緑化計画を策定し、緑化活動の中から働く喜び、樹木を愛する豊かな心及び草花を大切にする態度を学びとることを目的に、生徒、教職員、P T A一体となった活動計画を実践している。</p> <p>また、豊かな情操の育成など緑化教育の位置付けを確立するとともに、学級花壇、学校緑化、道路への花いっぱい運動を通して集団や地域社会の向上へも目を向けるように努めており、このような同校の緑化活動が、地域の緑化活動に果たしている役割は大きなものがある。</p> |

[地方公共団体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>かくのだてまち 角 館 町</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>秋田県仙北郡角館町</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>町 長 高橋 雄七</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同町は、「山と川と人の心が美しい豊かなまち」を町づくりの基本理念とし、さわやかな桜のまちを創造している。昭和63年度から町役場内に桜係を設置し、桜の一層の植栽に努めている。</p> <p>また、武家屋敷の保存整備に努めるとともに景観上欠かすことのできない樹木の保護対策を積極的に推進している。</p> <p>一方、昭和51年から、婦人会による花いっぱい運動の実施等地域住民の積極的な緑化運動も展開されている。</p> <p>このような、地域の特色を生かし、町民と一体となった積極的な緑化の推進は、全国の地方公共団体の緑化運動の模範として高く評価される。</p> |

[地方公共団体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>たいしょうちょう 大 正 町</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>高知県幡多郡大正町</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>町 長 武内 一</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同町は、「あなたも緑のふるさとを持ち、森林づくりに参加を」をキャッチフレーズに都市住民に森林づくりのオーナーとしての夢と緑のふるさとを提供するとともに、都市と山村との交流を通じて地域の活性化を図るため、昭和57年、町有林を対象に都市住民参加による森林づくり四国第1号として「ふるさとの森事業」を開始した。以来、四国地方はもとより北海道から九州に至る全国各地から約400名の都市住民参加の下に57haの森林を対象に計画的な森林づくりを進めるとともに「ふるさとの森のつどい」の開催等多彩な活動を通じて都市住民との交流を促進し、国民参加の森林づくりの普及推進に多大の貢献をしている。</p> |

[地方公共団体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>つつがそん 筒賀村</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>広島県山県郡筒賀村</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>村 長 吉岡 要</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同村は、村の森林面積の62%、村有林の99%を水源かん養保安林に指定し、水資源かん養・国土保全を基本方針とした森林づくりに取り組んできている。</p> <p>具体的には、村有林作業員の常雇い制度により直営で森林管理を計画的に行うほか、「水土保持機能強化総合モデル事業」により森林の持つ水源かん養等の機能の強化を図るとともに、21世紀の経済社会に対応した森林づくりを進めるため、森林の利用区分を明確にし、森林の多様な機能に即した整備方針を定めている。</p> <p>また、「緑のオーナー制度」及び「交流の森整備事業」の実施により、森林とふれ合い、親しむ場の提供にも努めており、緑化推進の功績は極めて大きい。</p> |

[地方公共団体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>にゅうぜんまち 入 善 町</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>富山県下新川郡入善町</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>町 長 柚木 春雄</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同町は、昭和47年、全国に先駆けて総合計画の中で、「公園都市の形成」を掲げて以来、植樹等住民の街づくりへの参加等を内容とする「公園都市」を宣言し、“緑をまもり、緑をつくり、緑につどう”まちづくりを進めている。この結果1人あたり都市公園面積も18.39㎡（昭和63年度末）と高い水準に達している。</p> <p>さらに、緑の核である公園を住民と行政が一体となって管理するため、「入善町公園維持管理協議会」を設け、草花手入れ講習会、樹木せん定などを実施しているほか、公園内における花壇コンクールを実施するなど、住民と一体となった緑への取組は高く評価される。</p> |

[地方公共団体]

| | |
|--------------|---|
| <p>名 称</p> | <p>はぎし 萩市</p> |
| <p>所 在 地</p> | <p>山口県萩市</p> |
| <p>代 表 者</p> | <p>市 長 小池 春光</p> |
| <p>功績の概要</p> | <p>同市は「庭園都市構想」を掲げ、萩市緑化推進協議会を中心に、市民参加の下に、「自然の庭園」づくりを目標に緑化運動を展開している。</p> <p>特に、昭和48年7月に「緑を守る条例」を制定し、保存樹木の保護、育成等緑の保護と緑化の推進に努めている。</p> <p>また、松くい虫の駆除事業等を積極的に実施し、松の育成対策を推進するとともに、家庭における緑化意識の高揚を図るため、苗木の無料配布や花いっぱいコンクールの実施等を行っている。</p> <p>このような、市民と一体となった広範で息の長い緑化の推進は、全国の地方公共団体の緑化運動の模範として高く評価される。</p> |